

# 親子でつくろう!

## ベランダ菜園

### トウガラシ (ナス科)

#### ベランダ栽培のポイント

1. 3本仕立てにする。旺盛な3本の枝を残し、下の枝は摘み取る。
2. 月に2回、生育ぐあいをみながら追肥する。
3. 赤く熟した果実を順次摘み取るか、株ごと引き抜いて収穫し、軒下などで乾燥させる。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

■ 種まき期間 ■ 植えつけ期間 ■ 収穫期間

栽培の難易度

コンテナの大きさ

難 **中** 易



大型



真っ赤な実はお観賞にも

三大香辛料のひとつであるトウガラシは、世界でもっとも広く栽培され、消費されています。成分のカプサイシンには、食欲を増進させ、消化を助け、血行をよくする働きがあります。栽培は簡単で、ピーマン、シトウとほぼ同じです。高温を好むので、日当たりのよい場所で育てます。緑の葉と赤い実のコントラストが美しく、ベランダの彩りにもきれいです。

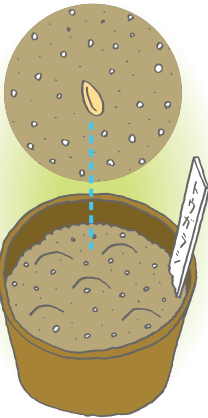
### 1. スタート

#### 種まき

ポットまき

市販の苗を求めて植えつけるのが一般的ですが、種から育てる場合は、ポットまきにして間引きながら育てます。

3号ポットに土を入れて表面を平らにし、指先で5か所のまき穴をつくる。1か所に1粒の種をまいて、種が隠れるくらいに土をかぶせる。軽く押さえて、水やりする。

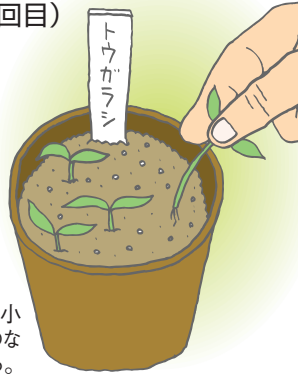


### 2. 2週間後

#### 間引き (1回目)

種まき後は、室内の暖かい場所に置いて、乾燥させないように管理します。順調にいけば7~10日くらいで芽が出てきます。双葉が開いたら、1回目の間引きをします。

双葉の形の悪いもの、小さいもの、曲がったものなどを間引いて3本にする。



### 3. 4週間後

#### 間引き (2回目)

本葉が出始めたら、2回目の間引きをします。いちばんよい苗を選んで1本にします。この時期からは気温が上がってくるので、日中は外に出し、日が暮れたら室内に取り込みます。

間引く苗を指先でつまんで引き抜く。間引き後は、土を平らにならしておく。



### 4. 9~10週間後

#### 植えつけ

寒さの心配がなくなってから植えつけます。大型のコンテナに植えたほうがしっかりとした株になり、収穫も期待できます。

##### ① 苗を植えつける

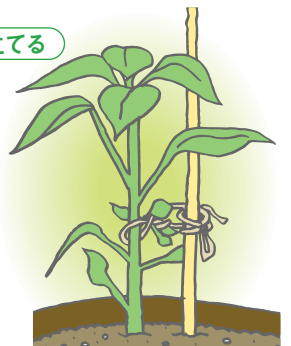
コンテナに2/3くらいまで土を入れ、苗をポットから取り出して中央に置く。根鉢の周囲に土を足して、苗の土の高さと同じになるまで土を入れる。



表面をならして株元を押さえて安定させ、水をたっぷりと与える。

##### ② 仮支柱を立てる

風で倒れないように仮支柱を立てて、茎をひもで結んでおく。



### 5. 12週間後

#### 支柱立て・追肥

一番花が咲いたら、主枝とその下の元気のよいわき枝2本の合計3本仕立てにします。それ以外のわき枝はすべて摘み取ります。本支柱を立て、追肥を始めます。

支柱は長さ60cm程度のものをしっかり立てて、ところどころ枝を誘引する。株元に化成肥料を10gまき、土と混ぜ合わせる。以後、月に2回の追肥を。

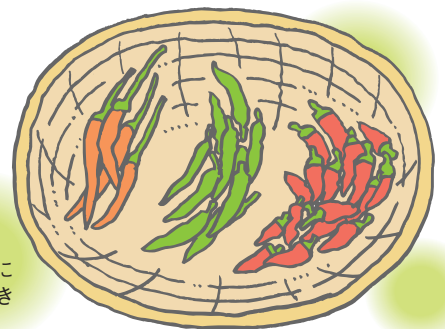


### 6. 17週間後

#### 収穫

実が赤く色づいてきたら収穫です。生トウガラシで味わっても、乾燥させて保存もできます。

色づいたものから収穫。秋に株が枯れてきたら、株ごと引き抜いて乾燥させる。



## 太陽光発電システム

CO<sub>2</sub>と光熱費が減らせて環境と家計どちらにもうれしい。

- ① 余った電力は売ることができます。(24年度余剰電力買取価格42円/kwで10年間固定)  
※買い取り価格は毎年見直されます。
- ② 今なら補助金が受けられます。(55万円/kw以下で3万円 例:4kwなら12万円)
- ③ 家族みんなで環境保護に貢献。(メーカー保証10年で安心です)



我が家から地球のためにできること。

JAとうとにおまかせ下さい。

お問い合わせは・・・

JAとうと経済部 ☎ 68-5120 または  
ガスプラザとうと ☎ 22-3823 まで



※イメージ

太陽光発電システムを利用した住宅ローンのご相談・お申し込みはお近くのJAとうと窓口またはローンプラザとうとへお問い合わせください。